

※インターネット「はらまち九条の会」で、「九条はらまち」の全号を見ることができます。



九条はらまち

「はらまち九条の会」ニュース No. 8 3
2008(平成20)年12月13日(土)発行

<1937(昭和12)年12月13日、日本軍、南京を占領。2ヵ月に及ぶ「大虐殺」を国民は知らされず>
◆松井石根司令官(東京裁判戦犯で絞首刑)の支那方面軍が中国の国民政府軍の首都だった南京を占領。蒋介石は12月7日重慶に脱出した◆12月1日、大本営は南京攻略を命令。日本軍は10日から総攻撃をはじめ、残虐行為の限りを尽くした。南京城内に入った兵士たちは統制を乱し、平静を失い、中国兵だけでなく捕虜や一般市民、難民まで虐殺し、婦人に暴行を加え、放火や略奪をくり返した。犠牲者は「20万人以上」(東京裁判の判決)で、こうした事実は日本国内には知らされないまま、国民は戦勝に酔い大祝賀行事や提灯行列がくり広げられた。◆現在、南京の「南京大虐殺記念館」にはさまざまな資料が展示され、この1年の入館者は500万人。多くの中国人の体験証言や加害者側の旧日本兵自身の反省があっても、この歴史的残虐行為を認めようとしない日本人がいる。 <写真は、啓隆社発行『図説日本史』より>



2008年「はらまち九条の会」の活動は?



- 1月13日(日) 成人式会場前で原町区新成人420名に『憲法』復刻版を配布
- 2月3日(日) 総会・吉原泰助氏講演会(市文化センター)出席80名・懇親会
- 5月3日(土) 憲法記念日行事“憲法9条を守ろう”の意見広告チラシを原町区・小高区の全戸に新聞折り込み
- 5月から 大看板建設費カンパ募集開始
- 8月10日(日) 第3回学習会(銘醸館) 参加者15名
- 8月15日(金) 終戦記念日企画“世界は憲法9条をえらび始めた”の看板完成
- 11月3日(月) 文化の日(憲法公布の日)あきいち08「サダコと折り鶴・原爆展」開催・チラシ1,200枚配布

毎月ニュース「九条はらまち」No.48~No.85(1年間33号)を発行・手渡しや郵送

●会員は約370名。事務局だけの内輪の活動でなく、より広く多くの会員の皆様の参加を!

史上サイテーのフツシユ大統領

「イラク誤情報、最大の痛恨」

何を今さらフツシユ大統領! ☆

●大量破壊兵器を隠しているという理由でイラク開戦に踏み切ったフツシユ。それが誤情報だったと退任間近の今頃、こんな後悔を。イラク攻撃で失われた命をどうする気か。それに追従した日本政府の指導者の責任や罪も重い。

●十二月十四日イラク訪問で靴を投げつけられたフツシユ。「当然」という声があがっています。

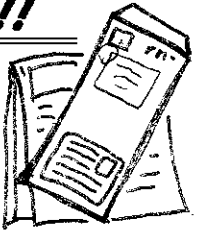
語るも愚かしい「田母神発言」 会員 山崎 次郎 (鹿島区)

イラク派兵に関して名古屋高裁が違憲判決を下したことに、私たち「相双教職員九条の会」と「県立高教組相双支部」では今年の夏8月30日、原町区のホテル・ラフィーナで川口創弁護士事務所局長による報告会を開催した。満席60名の参加者で意義ある会だった。

名古屋高裁では「自衛隊のイラク派兵は違憲」と明確な判決を下したが、政府は本筋ではないことを理由に無視し、しかも実行犯の首謀者である当の田母神俊雄航空幕僚長は「そんなの関係ねえ」と今年流行語ともなる妄言・暴言を吐き、そしてこの御二、その後これまた怪しげな...というの。歴史家・評論家諸氏から、論文とは名ばかりの、いわば『上杉謙信は女だった』というがごとき奇妙奇天烈火なシロモノと揶揄された(最優秀だと言うのにネエ)懸賞論文で物議を醸したこと皆さんすでにご承知のこと、従ってこれ以上何かを言う気はない。

その他世の中には、アホな指導者・担当者が関わったアホな決定、よしんば決定されたことがたくさんある。余りにもアホな場合は、もう一度振り出しに戻って謙虚にやり直すべきではないか。田母神の退職金の六千万円も無駄だけど、自衛隊のイラク派兵なんぞ更にとんでもない話だ。ついこの間の教育基本法改悪だって、未成熟ヘドナシ安倍内閣の産物だ。所詮生産能力に欠陥のある者が持った紛い物(まがいもの)なのだから、生産者一同一列に並び、深々と頭を下げ、「すぐ元に戻します」と陳謝すべきものではないのか。

『九条はらまち』郵送用封筒の“ことば”をどうぞ!!



- 毎月、ニュース「九条はらまち」を郵送している封筒は、「一般会員用」と「匿名会員用」（約50名）の2種を作り使用しています。匿名の方の中には「郵送で世間に九条の会員であることが分ると困る」との声もあり、なにも印刷していない封筒で郵送しています。
- でも最近、匿名会員の方より、「一般会員用」封筒の言葉などを読んでみたい」という声もありましたので、これまで掲載したものを下記のようにコピーしてみます。

「ほんとうの平和国家を目指すなら、国民が声を上げて、アメリカの庇護の象徴である米軍基地を閉鎖してもらい、武器の研究開発などからも手を引き、平和憲法どおり武器をもたない丸腰の国家となるべきです。そのために攻められ、他国に侵入されることもあえて辞さず、日本が滅びて犠牲になっても、世界に平和国家とは何かを示そうというだけの覚悟と気概を示さなければなりません。そのために私はみなさんに話し続けます。それが私の夢の運動です。」



日野原重明『いきいき』2007年8月号より

世界中で紛争が絶えず、武器が次々と作られています。地球環境の変化が人々を脅かし、貧困は広がっています。そんな世界でいま人々が注目し始めているのが、日本の憲法9条です。「武力によらず平和をつくる」この9条の考え方をいま、世界で生かしたい。戦争のない世界のために。一人ひとりが、平和に生きられる未来のために。
 <08年5月4日・幕張メッセ“9条世界会議”挨拶文より>

「私は母と妹二人を太平洋戦争の東京大空襲でなくしました。一片のお骨すら見つかっていません。その後、父も米軍の機銃掃射を三発受け、死亡します。この体験が、私に『ガラスのうさぎ』を書かせたのです。兵士一人一人はきっとみんないい人なのです。でも、戦争となると、上官の命令で殺してしまうのです。だから、お願い。選挙権を持ったら、戦争を手助けしたり、起こしたりする人に投票しないでください。」
 (2007年12月8日付「福島民報」高木敏子「12月8日を知っていますか」より)
 児童文学・高木敏子著『ガラスのうさぎ』には、疎開先の相馬市でのこと、原町も一言登場します。

- ・当あてながら助たすけも出来ぬ豪ご華艦
 (イージス艦1,475億円、南相馬市20年度予算296億円)
- ・責任を避けるイージス速いこと
- ・舵取らず情報だけは制御する
- ・帝国の軍の悪夢を垣間見る
- ・事故で知るベトナムまでも行っていた



●2008年2月、海上自衛隊イージス艦漁船衝突事故について、『朝日新聞』朝日川柳より●



「地球の約6割の地域で核兵器は使えなくなりました。しかもそれらの条約に「日本国憲法」の条文が引用されています。我々が「憲法」を忘れていた間に、「憲法」は宇宙から海底まで地球の非核兵器地帯の拡大のために大変大きな仕事をしている。それを「時代にあわない」とか「古い」とかいい加減なことを言う人もいる。教科書検閲は明治時代からやってもやめない。漢字だって古いけどやめるわけにはいかない。なぜ「憲法」だけ古いからやめようと言うのでしょうか。こんな馬鹿な価値判断はありません」

(2007年10月21日 福島市での井上ひさし氏講演会より)

「もし戦争のために使われているお金をぜんぶ、貧しさと環境問題を解決するために使えば、この地球はずばらしい星になるでしょう。私はまだ子どもだけとそのことを知っています」

<1992年6月11日・ブラジル・リオデジャネイロでの 国連地球環境サミットにて、カナダ人12歳少女のスピーチ>

『過去に目を閉じるものは、現在に対しても盲目である。非人間的な行いを記憶することを拒むものは、だれであれ、また同じ危険に陥りやすい』 ヴァイツゼッカー(1920～元西ドイツ大統領。1985年5月8日、ドイツ敗戦40周年の連邦議会での演説。ドイツは第二次世界大戦を引き起こした自国の罪や責任を厳しく反省し、現在でもナチスの戦争犯罪を追求しています。すべてを水に流して許し忘れて終わる日本と、他国にきれいな水を流さなければならないヨーロッパ諸国の違いです。)



■書籍、新聞、雑誌、ミニコミ紙、テレビ、ラジオなどには、よく見ていると、現在の憲法の大切さや第9条を変えないで護っていこうという、政党や宗教、地位や立場をこえたさまざまな人々の言葉に出会います■その時は「いい言葉だな」と思ってもメモしておかないと、すぐに忘れてしまったり■皆さんで味わいたい憲法に関する言葉など、事務局へお寄せください。封筒に印刷させていただきます。

